

町田市施行・忠生土地区画整理事業  
保留地(宅地)分譲中  
問区画整理課 792・3771

町田ボランティアセンター  
土曜日の  
開所時間を  
延長します

町田ボランティア・センター(町田市民フォーラム内)は2月から試験的に土曜日の開所時間を延長し、午後も利用いただけます。これまでに、町田ボランティア・センターをご利用下さい。開所時間 月～土曜日の午前8時30分～午後5時15分 町田ボランティア・センター ☎725・4465

出張教育相談

- 2月5日(火) 鶴川市民センター
2月7日(木) なるせ駅前市民センター
2月12日(火) 忠生市民センター
2月14日(木) 子どもセンターばあん
2月19日(火) 堺市民センター

教育相談所では、毎月出張教育相談を行っています。不登校、非行、勉強や進路の悩み、親子の関係などでお困りの方は、お気軽にご相談下さい。専門の相談員がお答えします。相談は無料で、秘密は厳守します。相談希望の方は、前もって電話をして下さい。町田教育相談所 ☎723・4396

まちだ  
歴史発掘

その6

縄文の精霊  
顔面把手

出づつ格好で付けられますが、実用的な把手ではありません。今から約4700年前につくられたこの遺跡の顔面把手は、吊り上がった大きな眼と小さく高い鼻、ポイントに開けたおちよほ口が印象的で、も端正な顔つきです。中は空洞で、高さは10cm程度ですが、大きな割に重厚な造りです。この把手は、土器の中央の割れ口の縁から、土器の中を覗く格好で土器の口に付いたことがわかりました。土器は深鉢形で食物を煮炊きしたり貯蔵するためのものですが、こまか煮えもよく、傷まず長持ちしてほしいといった素朴な願いがこの造形に込められていたのかも知れません。しめしめ例えは山梨県の事例では、把手の

藤の台遺跡は、本町田の今井谷戸交差点近くにあった遺跡です。恩田川流域の丹沢山塊が眺望できる見晴らしのよい場所です。この縄文時代早期、中期のムラのあとが発掘されました。昭和54年、この遺跡の丘陵頂部を築中中にこの顔面のようなものが忽然と出土したのですが、これが顔面把手とか人面把手と呼ばれる特異な装飾の土器で、縄文文化が最も高揚した縄文中期に発達しました。

顔面把手は、ぶつと深鉢形土器の口縁の部分から三ヶ所に上に



顔面把手 (藤の台遺跡)

催し

【財】町田市在宅福祉サービス公社  
パソコン・デジカメ講座  
【パソコン講座】今年はいンターネットを始めませんか? 日時 A 2月13日(土)15日の午前10時～正午 B 3月4日(土)6日の午後2時～4時(全3回) 内容 パソコン入門、ホームページ閲覧、メール送信の基本【デジカメ講座】パソコンがもっと便利に使えるように講座です。日時 A 2月25日(土)27日の午後2時～4時 B 3月18日(土)20日の午前10時～正午(全3回)

【チャレンジ教室・野焼で縄文のお茶碗を作る】日時 2月17日(土)午前10時～午後3時 講師 若原 丹羽芳彰氏 持ち物 定規(30cm位)、筆記用具、黒サインペン、弁当 定員 40人(申し込み順) 会場 ひなた村

暮らしのセミナー日程

日 時	テ マ	講 師
2月12日(火) 午前10時～正午	自給率40% / 日本の食の現状と未来	日本消費者連盟 富山洋子氏
2月19日(火) 午前10時～正午	食品の安全性をどう考える 食品照射の問題等について	ジャーナリスト 都司和夫氏
2月26日(火) 午前10時～正午	輸入農産物の現状 ポストハーベスト・施設農業の問題から	日本子孫基金 早坂由美子氏
3月5日(火) 午前10時～正午	世界の食糧・農業の現状 遺伝子操作食品の問題から	"
3月12日(火)	料理教室「とうふづくり」	消費生活センター運営委員

消費生活センター

【1ヶ所に役立つ】ネット教室、分室と塩分控えめ料理、お茶のみ汁の塩分チェックと塩分控えめ料理のポイントを実習します。対象 市内在住、在勤、在学の方 日時 1月29日(火)午前10時30分～午後1時 会場 忠生市民センター

自然休暇村

【自然休暇村(4月分)】「星のふるさと」長野県上村にある自然休暇村は、町田から車で約4時間。今回受付をする利用日は本館が、4月1日、26日です。キャンプは4月1日、27日までを季節閉鎖中です。4月9、10日は休日のため利用できません。4月27日から本館及び28日からのキャンプの利用は、ゴルフデューク期間として別途受け付けます。申し込みできる方は、市内在住、在勤の方とその家族です。レストランでは、朝夕食2000円で食事を提供します(要予約)。【大地沢青少年センター(5月分)】緑豊かな自然のなかで楽しく野外活動をしていただく施設です。☎042・755・3333へ。

自然休暇村利用案内

施設名	室数	使用料
本館(和室10畳、定員6名)	18室	1泊1室 8,000円

大地沢青少年センター利用案内

施設	利用時間	1室あたり使用料	
		宿泊	その他
本館	宿泊室多目的室(20人用6室)	午前9時～正午 1,000円 午後13時～17時 1,500円	10,000円
	和室(5人用2室)	宿泊 14時～翌10時 3,000円	
	多目的ホール	午前9時～正午 2,000円 午後13時～17時 3,000円 夜間18時～21時30分(宿泊者のみ利用可) 3,000円	
キャンプA(20人用2室)	宿泊 14時～翌10時	10,000円	
キャンプB(8人用4用棟)	宿泊 14時～翌10時	3,000円	
貸出テント(5人用)	宿泊 14時～翌10時	300円	
工芸室	午前9時～正午 1,000円 午後13時～17時 1,500円		
日帰(野外炊事場等)	9時～16時30分		無料

自然休暇村4月分  
大地沢青少年センター5月分  
利用予約  
2月1日から受付

本館は防音施設も完備されています。今回受付をする利用日は4月1日、30日です。月曜日の午後、火曜日及び5月1日、8日は休館です。市の事業等実施のため利用できない日があります。申し込みできる方は、市内在住、在勤、在学の方で過半数のグループまたは個人です。利用月の1か月前からは、市外の方も予約できます。申し込み 2月1日午前9時から森野分庁舎1階大地沢青少年センター(☎724・2131)で受け付けます。午前9時までは、受け付けたい方を同着とみなし、入室を超えた場合は抽選を行います。10時30分以降は電話での予約も受け付けます。【「相模原市民たしな自然の村」利用できます】市内在住の方は、「相模原市民たしな自然の村」(長野県北佐久郡立科町、女神湖の近く)もご利用できます。申し込み・お問い合わせは、やき会館(相模原市都市整備公社 ☎042・755・3333)へ。